

科目番号	53002	分類	共通科目		履修者	高度実践公衆衛生看護コース (共通科目)		学年	1
科目名	看護政策特論 ( Advanced Course in Nursing Policy )							1	
								配当セスター	
								通年	
担当者	○金子 あけみ			区分	選択	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
<p>看護を取り巻く課題と課題解決に向けた制度・政策実現のプロセスについて、看護学及び関連領域の研究者や行政官など、実際の政策や制度の形成過程に携わる実践家からの講義を通して学ぶ。また、各自の臨床経験等を通して得た政策課題・問題点を整理・抽出し、解決策を考えてみる。</p> <p>1) 看護を取り巻く制度・政策の実際と決定プロセスを理解する 2) 制度・政策の現状を理解したうえで、課題・問題点を整理し、解決策を提言できる能力を習得する</p>						○	1.多様な課題に対応する高度な実践力		
						○	2.地域住民の自立を支える統合的支援能力		
						○	3.地域の健康課題を科学的にアセスメント・分析する能力		
						○	4.政策や保健事業を開発する能力		
						○	5.災害対応や新興・再興感染症への危機管理能力		
						○	6.公衆衛生看護・公衆衛生行政に繋がる研究能力		
授 業 計 画									
回	内 容							担当教員	
第1回	ガイダンス							金子	
第2～3回	政策・政策立案過程、保健医療政策立案過程における現状と課題、看護職者と政策（看護関連法令を含む）								
第4回	看護現場における政策的課題を抽出し、改善に向け政策に反映する方法								
第5～6回	看護現場における政策的課題・政策提言（ワーク）								
第7～8回	看護現場における政策的課題・政策提言（課題発表）								
事前・事後学習	事前学習として、現場の課題に対して関心を持ち、課題を明らかにし、言語化しておく。事後学習として、常に自ら課題解決していく姿勢を堅持できるよう努める 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。								
評価の方法	出席状況（20％） 課題発表（80％） フィードバックは適宜行う。								
参考図書・資料等	随時参考資料を提示する。								
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。								